

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束にあたるので、解錠できる時間を作る工夫をしてほしい。	ご利用者様のご希望時には解錠し、離苑にならない様に見守りを行う。	定期的に外出の機会を持ち、落ち着いた日常生活を送れるように支援する。	6ヶ月
2	45 (17)	シャワー浴であっても、介護計画に入浴が盛り込まれている利用者には浴槽に入れるよう工夫してほしい。	ご利用者様のご希望、体調をお伺いし、無理のない程度介助を行う。 介助用具を検討していく。	浴槽からの立ち上がりに危険が生じない様に、スタッフ複数で介助に当たる。 介助用具を含め利用者様の危険の無いように入浴介助に努める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。